## 第109回完ナビ 訂正表

※ が訂正箇所になります。(139ページ 問132)

#### 第 109 回 薬剤師国家試験 解説 139

### 問 132

化合物 A~E の代謝と毒性に関する記述のうち、正しいのはどれか。<u>2つ選べ</u>

CH₃OH

訂正前

訂正後

- 8 7 8
- 2 化合物 Bは、シトクロム P450 によって酸化され、生じたエポキシ体がメトヘモグロビン血症 を引き起こす。
- 3 化合物 Cは、シトクロム P450によって水酸化され、次いで M-脱メチル化される過程で生成するメチルカチオンが DNA と付加体を形成する。
- 4 化合物 Dは、シトクロム P450 によって速やかに水酸化され、TCA 回路のアコニターゼを阻害する。
- 5 化合物 E は、カルボキシルエステラーゼによる加水分解によって活性化され、アセチルコリンエステラーゼを不可逆的に阻害する。



$$O \sim N \longrightarrow CH_3$$



#### 第 109 回 薬剤師国家試験 解説 139

### 問 132

化合物 A~E の代謝と毒性に関する記述のうち、正しいのはどれか。 2 つ選べ。

CH₃OH

- FFFFF ON NO H
- 1 化合物 A は、生体内でホルムアルデヒド、次いでギ酸に酸化されて視覚障害を引き起こす。2 化合物 B は、シトクロム P450 によって酸化され、生じたエポキシ体がメトヘモグロビン血症
- 3 化合物 C は、シトクロム P450 によって水酸化され、次いで A-脱メチル化される過程で生成するメチルカチオンが DNA と付加体を形成する。
- するメチルカナオンか DNA と行加体を形成する。 4. 化合物 Dは、シトクロム P450によって遠やかに水酸化され、TCA 回路のアコニターゼを阻害
- 5 化合物 E は、カルポキシルエステラーゼによる加水分解によって活性化され、アセチルコリン エステラーゼを不可逆的に阻害する。

# 訂正後

$$O N CH_3$$

